

教科(科目)	情報Ⅰ	単位数	2単位	学年	4学年
使用教科書	実教出版『最新情報Ⅰ』				
副教材等	実教出版『最新情報Ⅰ 学習ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切に思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のおり育成することを目指す。

- (1) 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 指導の重点

- ・ 情報技術の知識・技能の習得を目指す。
- ・ 情報社会におけるモラル、マナーを身につけさせる。
- ・ 情報技術を使い、問題発見、課題解決を試みる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 式やグラフでの表現の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーテストの分析 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	1章 情報社会と 私たち	14	・教科書 ・副教材	<ul style="list-style-type: none"> 情報等は何かを知る。 情報社会における権利や法律を学ぶ。 情報技術が日常生活においてどのように活用されているか、理解する。 	14	ワークシート (記述の確認)
6 7	2章 メディアと デザイン	13	・教科書 ・副教材	<ul style="list-style-type: none"> メディアとコミュニケーションの形態について学ぶ。 情報デザインについて理解する。 日常生活における資料の作成について学ぶ。 	13	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
7 9	3章 システムと デジタル化	11	・教科書 ・副教材	<ul style="list-style-type: none"> コンピューターの仕組みについて理解する。 コンピューターの性能や、デジタルの表現方法を学習する。 	11	ワークシート (記述の点検) POP (記述の分析)
10 11	4章 ネットワークと セキュリティ	14	・教科書 ・副教材	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの仕組みを理解する。 情報セキュリティの仕組みと使い方を学ぶ。 	14	ワークシート (記述の点検)

12 1	5章 問題解決と その方法	11	・教科書 ・副教材	・問題解決策を理解する。 ・データの活用と分析を学習する。 ・データの活用とモデル化を使い、シミュレーションを利用する。	11	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)
2 3	6章 アルゴリズムと プログラミング	10	・教科書 ・副教材	・プログラミングについて理解する。 ・プログラムを作る。	10	ワークシート (記述の点検) 発表の様子 (行動の確認)

計73時間 (48分授業)

7 課題・提出物等

副教材の学習ノートを定期的に課題として課します。

8 担当者からの一言

普段から慣れ親しんでいるパソコン、タブレット、スマートフォンにおける様々なシステムや法律を理解することで、より安心して電子機器を使うことができるようになります。また、アプリの開発でも使われるプログラムを学ぶことで、個人でプログラムを組むことができます。「情報」と聞くと難しいと感じることがあるかもしれませんが、一つひとつをきちんとクリアすれば対応ができます。一緒に深く学んでいきましょう。